



Q172. 性表現(Gender Expression)って？



A. 見た目や言動で表す「性」だよ。

所属する社会に応じて「表現したい性」に応じた振る舞いや服装を選択することで「見た目や言動で表す性」を指すんだ。

「性表現(Gender Expression) = ふるまう性」は、自分がどんな「性」として見せたいか、ということでもあるよ。

マンガやアニメの、R18指定などの “ 性的な表現の規制 ” のことではないよ。

「性表現」とは、見た目の「女らしさ」「男らしさ」なんだね。

どんな表現が「女らしい」か「男らしい」かは時代や社会・地域によって異なっているよ。

そういう意味で「性表現」は社会的な性別(Gender)と言えるんだ。

これまで取り上げてきた「生まれたときの性」「こころの性」「好きになる性」には関わらないよ。

自分を女性として表現したい人は「性表現」は女性だし、男性として表現する人は「性表現」が男性なんだね。

この表現、は、言葉遣いや仕草、服装はもとより、生活上のパターンなんかに影響しているよ。

想像しやすいというとなんだけど、有名人で例えるとマツコ・デラックスさんは著書で自身のことをゲイだと言っているよ。

テレビ番組では「体が男」という表現を多用しているけど、そう言いながらも一人称は「あたし」

「私」であったりして、自分のことは「女装家」と言っている。

➡生まれたときの性 = 男性、こころの性 = 男性、好きになる性 = 男性、性表現 = 女性で「性表現が女性のゲイ男性」と言えるよ。

以前までは同じとされていたものに「トランスジェンダー」があって、定義として「性自認(こころの性)と身体的性(からだの性)が一致していない方」とされているよ。

「自分は出生時から女性とされているけど、こころの性は男性なんだ」

「こころの性と生まれたときの性が異なっていて、周囲からこころの性とは別の性として見られるのだけれど、外科的な手術までは求めない」

「性表現」では性自認(こころの性)と身体的性(生まれたときの性)は一致しているよ。
でも、性の表現方法が違う、ということになるよね。
そういう意味でトランスジェンダーとは言えない、といまは考えられているんだ。

見た目や言動で表す性が「性表現」だったよね。
ファッションやメイク、言葉遣いなんかも、その範疇に入るんだよ。
つまり「性表現が生まれたときの性やこころの性と一致していない状態」と言えるんだね。

ここで忘れてはいけないのは「性表現」がどうであれ、同性愛者／トランスジェンダーとは限らないよ、ということ。
生まれたときの性が男性の人が女装をしていたとしても、こころの性が女性であるとは限らないということだね。
異性装をしていることが他の性になりたい、ということは直結しないんだ。

生まれたときの性とは違う性の格好をして、それに合わせた振る舞いをしていたとしたら、ゲイやレズビアン、トランスジェンダーだ、と思ってしまうがちなよね。
でも、女装や男装をしているからといって必ずしも同性愛者やトランスジェンダーというわけではない、ということだよ。
「性表現(Gender Expression)」は、自分がどんな「性」として見せたいか、ということだから、周りが決めつけることではないんだね。

「性表現」は、「社会からの見え方を考えたうえで、このような性としてふるまいたい」という、あくまで主観的なものだよ。
この「社会からの見え方」は「その社会での性のあり方」でもあるので「社会」の考え方というものに大きな影響を受けてしまう。
その「社会」における「あたりまえ」だと思われているものに左右されてしまうんだね。

「社会」はひとつではないし、国や地域ごとにも違うし、時代によっても大きく変わっていくよ。
いくつもの「あたりまえ」があっただけのだから。
自分の「あたりまえ」だと思っていることを、相手に押し付けることがないように、気を付けていきたいものだよ。

[《MENU》](#)

[《性表現\(Gender Expression\)って?》](#)

[LGBTQ+ってというのは?》](#)

放課後等デイサービス支援事業
Support Project of
Day-service for After-school
At Kyoto

2024-02-26 掲載